

国際女性デー

2025年3月7日(金) 開演18:30～ 国際女性デー大阪集会
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 7階
参加者 360人 府本部女性部から5人参加

女性部だより

国際女性デーとは、ア

メリカで1908年3月8日に「女性に男性と同じ権利を与えよ」と参政権を求めてのデモ行進から始まりました。そこから世界で女性の地位向上の動きが活発になり1975年によく「女性の社会参加を呼び掛けるための記念日」として国連で正式に制定されました。

「大阪集会参加の感想」

○毎年集会に参加してミモザの花を貰って帰り集会の興奮の中、頑張るぞと思う私でした。今回の講演は、辛淑玉さんの「鳥瞰図で見る日本社会」でした。講演の中で他の国との比較をしながら日本社会の今を考えると、自分の考えで行動しているのに今の日本では、行動すること、怒ることが無くなってきていると思います。諦めず行動し、少しでも生きやすい社会

になるように。

I・I

○「他国との比較しながら今の日本を考える」と

の演題で講師は、在日3世の辛淑玉さんでした。格調の高い内容でしたが、冗談を交えての話は笑いもあり、楽しい雰囲気の中勉強になりました。しかし日本社会はまだまだ女性軽視があります。



封建時代の男尊女卑の社会を生き抜いてきた女性の忍耐力、辛抱強さの底力が、今の社会を支えてきたと言っても過言では有りません。市川房枝さんの、女性参政権運動は日本にとって大きな進歩。

声を大にして女性の地位向上を勝ち取りましょう。

F・K

○年金者組合から送っていただく、初めての参加でした。大阪ではドーンセンターに360人が集いました。記念講演はシャナリスト辛淑玉さんでした。他の国々を訪問されてきたことからパワー・ポイントを使って世界の文化と日本の文化の比較を沢山され、会場に向かってクイズを出して楽しく講演されました。

例えばドイツは総選挙で、第2党になった極右(DfP)と市民との宣伝合戦が紹介され、選挙は自分達の政治を実現するものとの意気込みが火花を散らして展開されたとのこと。日本の民主主義社会の選挙とは程遠い規制ばかりの公選法はドイツにはありません。



最後に各団体が壇上で幟を立ててアピール

辛さんは、最後に「人権を抑圧する者との闘いを力一杯やりましょう」と締めくくられました。

W・K

○大阪で30周年を迎えオーピングの歌声は素晴らしかった。開会挨拶の後には辛淑玉さんの「鳥瞰図で見る日本社会」の記念講演。在日3世で他文化探検隊にて著書多数。英語混ざりの早口で高齢者には理解し難かった。

U・E

アメリカでは、病院見学は「どうぞ」と親切に説明してくれるが料金を取る。何でもお金がいる男女間でも自分の意思が言える環境を作る。ハキ

ハキとしたお話でした。集会アピールでは日本、世界の女性の連帯を強めること。ジェンダー平等と個人の尊厳、憲法9条を守り平和で持続可能な社会の実現を目指し奮闘しましょう。

N・K

○大阪集会は、「青い空」「折り鶴」の歌で幕を開けました。細川大阪労連女性部長の挨拶。給与が低いので年金も低い。最低賃金をあげる運動をしている。辛淑玉さんの講演「他国々との比較をしながら日本社会の今を考える」では、アメリカのNPO病院で女性へのDVに配慮して男性と女性を分けている等。

お知らせ

第10回女性部委員会

4月16日13時30分

グリーン会館6階

宣伝行動

午後12時45分

13時15分

宜しくお願い致します